

Infinity

2年 学年通信 No.2
熊本マリスト学園高等学校
令和5年7月28日(土)
文責 村田 矢澤

先日の終業式をもって1学期が終わりました。振り返ってみると、総文・総体を境に部活動において中心的存在となり嫌がおうにも責任感や自覚が芽生えた時期だったと思います。これから夏休みを迎え、課外や部活動、課外活動に多忙な日々を送ることになります。まずは健康に留意してそれぞれの活動に臨んでください。

2年生の夏休みは、ある程度自由に時間を費やすことが許される最後の機会です。自らがやるべきことを捉え、具体的な計画のもと実行に移してください。そうした中、ぜひ足を運んでもらいたいのがオープンキャンパスです。1学期の総学・探究の時間やロングホームルームを使って事前準備を進めてきました。参加する学校の情報を十分に集め、参加理由を明確にし、確認事項を整理して出向いてください。また、終了後には感想を含めた反省を行い、進路決定の一助としてもらいたいと思います。

この夏休みが生徒諸君にとって有意義な時間になることを願っています。

2学期の主な予定 2年生

8月30日(水～9月1日(金))	始業式・課題考査	10月17日(火)～20日(金)	中間考査
9月4日(月)	マリスト祭準備(5限～7限)～14日(木)	28日(土)	駿台模試(希望者)
15日(金)	マリスト祭 文化祭準備	11月 3日(金)	進研模試
16日(土)	マリスト祭 文化祭	18日(水)	文理コース選択本調査〆切日
19日(火)	マリスト祭 体育祭予行	27日(月)～30日(木)	期末考査
20日(水)	マリスト祭 体育祭	12月 13日(月)	高校クリスマスの集い(7限目)
		18日(月)	終業式

マリスト手帖

○生活面では、時刻を守っての登下校、清潔感のある身だしなみ、机やロッカーの整理、清掃への取り組みに意識を持つよう、度々声をかけております。清掃の腕を上げた生徒たちも見られます。夏休み中の暮らしにおいて、生活力の向上を目指しましょう。

○遅刻や欠席の連絡は、生徒の安全確認のため、必ず行って下さい。連絡がなく連絡がつかない場合、確認に時間がかかることもあり、授業などに影響が出ることもあります。

○8月は日本では特に「平和」のために祈ることの多い月です。英語の授業では第二次世界大戦中、ナチスに抵抗して多くのユダヤ人の子供達の命を救った Irena Sendler の生き方を読みました。戦争のない平和な世界の実現を願い、本を読み、学び続けましょう。



読書のススメ

夏にはにおいがある。

この季節になると必ず思い出すにおい。

土と風と太陽が一緒になったような熱を帯びた独特なおい。

40年ほど前のことになる。

一人の高校球児として日々練習に明け暮れていた。

夏の日グラウンドは体を刺すような陽光が注ぎ

無意味にも思える自分たちの声と生命を主張する蟬の声が交錯した。

ホームベース付近が陽炎でたゆたう。そんな時、このにおいを嗅いだ。

人間の五感の中で嗅覚のみが脳に直接信号を送ることが出来、それ故、においと記憶の結びつきは強いという。あの頃刻まれたにおいは半世紀近く経った今でも当時の情景を呼び起こす。

さて、今こうして当時の思いを言語化できているのは学生の頃読んだ本のおかげが大きい。

二年生の夏休みは比較的時間がとれる時期でもある。そんな時スマホを脇に置いて本を手にももらいたい。文字を目で追う行為は思いのほか自らを豊かにしてくれる。そこから得られる知識、感情は後の人生の財産となる。個人的には実体験から学ぶこと同様に大切にしたいものと考えている。さあ、夏休みだ。何でもいい。本棚に手を伸ばせ。



マリスト図書室より 新本紹介

○SDGsを理解したい

識者たちの経験や考え方を知り、「自分は、どう行動するか」に繋げていく。
『10代からの地球の守り方 SDGsの教科書』フジテレビCSR・SDGs推進プロジェクト/編 誠文堂新光社 (333.8/エ)
『持続可能な発展の話―「みんなのもの」の経済学』宮永健太郎/著 岩波書店 (岩波新書 519/ミ)
『世界の現場から 実践SDGs格差・環境・食糧問題の現実解』日経サイエンス編集部/編 日経サイエンス (333.8/セ)

○世界で何が起きているか？

世界を“地球儀を遠くから静かに眺めるよう”に捉えることは、物事を多角的な観点で考える力になる。
『13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海』田中孝幸/著 東洋経済新報社 (312.9/タ)
『なぜ世界を知るべきなのか』池上彰/著 小学館 (Youth Books 302/イ)
『地理×文化×雑学で今が見える 世界の国々』朝日新聞出版/編 朝日新聞出版 (290/セ)

○平和について命について考える

偉業を成し遂げた人々の歩んだ道から、これから生きる自分の信念を見つける。
『わたしは「ゼロ弾きのゴーシュ」―中村哲が本当に伝えたかったこと』中村哲/著 NHK出版 (333.8/ナ)
『イレーナ・センドラー ホロコーストの子どもたちの母』平井美帆/著 汐文社 (289.3/セ)
『命のビザ評伝・杉原千畝』一人の命を救う者が全世界を救う』白石仁章/著 ミネルヴァ書房 (289.1/ス)
『アンネ・フランクに会いに行く』谷口長世/著 岩波書店(岩波ジュニア新書 289.3/タ)

※本の中には、多様な世界や人生、考え方が詰まっています。人間的に成長したい、現状を打破したいと考えているあなたのことを図書館の本が待っていますよ。【図書館 津崎啓子】